

# 第5回(令和3年度第2回) 摂津市地球温暖化対策地域計画 策定委員会 議事要旨

日時：令和4年1月24日(月) 14:00～16:00

場所：摂津市役所本館3階301会議室

## ■ 出席者

- |             |        |                                       |
|-------------|--------|---------------------------------------|
| (1) 委員      | 尾崎 平   | (関西大学環境都市工学部都市システム工学科教授)              |
|             | 北川 照子  | (特定非営利活動法人摂津市人材サポート・ビューロー代表理事)        |
|             | 島内 嘉紀  | (摂津市商工会事務局長)                          |
|             | 小野 充   | (大阪ガス(株)北東部導管部ネットワーク地域コミュニティ室長)       |
|             | 鳥越 喜雄  | (関西電力送配電(株)大阪支社北摂地域統括長)               |
|             | 沖野 豊美  | (大阪府地球温暖化防止活動推進員)                     |
|             | 岩井田 武志 | (大阪府環境農林水産部エネルギー政策課温暖化対策グループ<br>課長補佐) |
| (2) 事務局     | 山本 和憲  | (摂津市生活環境部環境政策課長)                      |
|             | 中張 功貴  | (摂津市生活環境部環境政策課)                       |
|             | 中島 公平  | (摂津市生活環境部環境政策課)                       |
|             | 福田 莉子  | (摂津市生活環境部環境政策課)                       |
| (3) コンサルタント | 梁田 雄太  | (株式会社建設技術研究所)                         |

(以上、敬称略)

## ■ 内容

- はじめに
- 審議事項
  - (1) 計画における指標について
  - (2) 摂津市地球温暖化対策地域計画(案)について
- その他

## ■ 配付資料

- 【資料1】 計画における指標(案)について
- 【資料2】 摂津市地球温暖化対策地域計画(案)

## 1. はじめに

- 尾崎会長より開会の挨拶。
- 事務局より配布資料の確認。

## 2. 審議事項

### 1) 計画における指標について

- 事務局より【資料 1】に基づき説明。

委員：指標を設けるだけでなく、市民への周知が重要になる。

事務局：計画案に記載しているとおり、指標の進捗管理を行うため、庁外で構成する推進協議会を立ち上げる予定である。進捗管理は当会において行うと同時に、市の HP で公表していくことで市民への周知を行っていく。

委員：取組を市民に浸透して協力を促していくことも重要である。その際にはターゲットを絞り込む方が良いと思う。他都市の事例では、小中学生をターゲットにした啓発活動を行っている。

委員：摂津市では環境家計簿に代わる「未来守る！エネルギー日記」を作成したため、周知を推進してもらいたい。エネルギー日記の参加件数の目標値を 1,000 件としているが根拠はあるのか。

事務局：せっつエコオフィス推進プログラムの目標値の据え置きである。件数の伸び悩んでいたことも踏まえると野心的な目標ではあるが、新計画で達成を目指したいと考えている。脱炭素を視野入れた計画である以上、打って出る意識をもつことも重要と考えたものである。

委員：先ほどの小中学生への普及啓発について、小中学校の夏休みの宿題等にエネルギー日記を取り込めると良いのではないか。若年層への普及啓発にも繋がり、エネルギー日記の参加件数の増加も期待できると思われる。スマートフォンを活用した取組ができれば参加のハードルも下がると思われる。

委員：成果指標は省エネを重きに置いている印象を受けるが、脱炭素に向けて再エネに関する成果指標は検討できないか。

事務局：今回取り上げた成果指標は市民への分かりやすさ・取り組みやすさを重視したものである。脱炭素の視点を踏まえると再エネの視点も重要になることは理解できるが、市民がより直接的に関われる指標にしたいと考えている。

委員：削減目標の達成に向けて、kWh（電気使用量）の指標のみでは役不足の印象を受ける。削減目標達成に向けた取組に沿って目標の目安を示すことで、自分たちが何をすればよいかわかるように示すことが望まれると思われる。

- 委員：「リサイクル率」の言い方は一般的な表現か。
- 事務局：昨年度策定した「摂津市一般廃棄物処理基本計画」から引用しており、整合性の観点から、このような表現としている。
- 委員：成果指標の目標値（P30）は、設定根拠を市民に理解して頂けるよう計画内に記載する必要がある。また、成果指標の目標達成に向けて市民や事業者が具体的に何を行っていくべきか例示することで理解と意識の向上に繋がると思われる。「具体的に何を行なっていくべきか例示する」については、（P39）市民の取組事例において「未来守る！エネルギー日記」を積極的に活用します。を追記することで、僅かでも利用促進が期待できると思われるので検討されたい。

## 2) 摂津市地球温暖化対策地域計画（案）について

○事務局より【資料2】に基づき説明。

- 委員：削減目標の設定背景において、改正温対法の旨を追記した方がよい。「再エネ利用率の高い電力購入の促進」は基本方針2の方が、座りがよいのではないかと。施策1-1-1は「住宅、建築物の省エネルギー化の促進」がよいのではないかと。温室効果ガス削減量の内訳で、市の独自対策として示されている内容などで指標を検討してはどうか。
- 委員：適応策に「適応ビジネスの促進」とあり取組事例の紹介を図るとあるが、摂津市の特徴として小規模事業者の関係者が集まって連携していくものもあるので一体的・面的な取組を検討してもらいたい。
- 事務局：取組として連携できるかについて、産業振興課と商工会と協議し、確認させていただきたい。

## 3. その他

- 事務局：今後のスケジュールについて、2月初旬から1か月かけてパブリックコメントを実施する。パブコメ後のスケジュールについては、新型コロナウイルス感染状況の動向を踏まえながら会長と協議の上決定する。

〔了〕